明治時代

名前

問1　明治政府が領事裁判権の撤廃を交渉する際、欧米諸国からは「日本の法律や裁判制度が未整備である」ことが反対の理由として挙げられていました。この反論を覆し、条約改正を実現させるために日本が国内で優先的に取り組んだこととして、最も適切なものはどれですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）

1. 武士の特権を廃止し、国民全員に兵役の義務を課す徴兵令の実施
2. 刑法や民法など、欧米の基準に合わせた近代的な法典の整備
3. 中央集権体制を強めるために藩を廃止し、県を設置する廃藩置県
4. 土地の所有権を認めて地券を発行し、安定した税収を得るための地租改正

問2　1895年の出来事をまとめた年表において、日清戦争の講和条約である下関条約の直後に記される重要な出来事について、ロシア・ドイツ・フランスの3カ国が日本に対して行った要求の具体的な内容として正しいものはどれですか。（2026年 奈良県公立入試 類似）

1. 朝鮮の独立を認めず、ロシアと共同で保護国化すること
2. 下関条約で日本が獲得した遼東半島を、清に返還すること
3. 下関条約で日本が獲得した台湾と澎湖諸島を、清に返還すること
4. 日清戦争の賠償金を放棄し、その資金を清の近代化に充てること

問3　明治時代の文学界では、個人の感情を重視するロマン主義などの新しい運動が盛んになりました。日露戦争に出征した弟を想い、「君死にたまふことなかれ」という詩を雑誌『明星』に発表し、当時の社会に大きな反響を呼んだ歌人は誰ですか。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 与謝野晶子
2. 正岡子規
3. 夏目漱石
4. 樋口一葉

問4　1885年に創設された内閣制度の初代内閣総理大臣に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 岩手県公立入試 類似）

1. 日本初の本格的な政党内閣を組織し、「平民宰相」として国民から広く支持された。
2. ドイツ（プロイセン）の憲法などを調査し、大日本帝国憲法の起草において中心的な役割を果たした。
3. 学制や徴兵令、地租改正といった明治初期の三大改革を主導したが、内閣制度創設前に暗殺された。
4. 自由民権運動を指導し、自由党の結成を主導して国会の早期開設を求めた。

問5　1895年、ロシア・ドイツ・フランスの3か国が、下関条約で日本が得た領土の一部を清に返還するよう求めた事件について、その要求の対象となった地域を次の中から選びなさい。（2023年 北海道公立入試 類似）

1. 山東半島
2. 澎湖諸島
3. 台湾
4. 遼東半島

問6　明治時代初期の自由民権運動において、フランスの思想家ルソーの考えを日本に紹介し、運動に大きな影響を与えた人物とその活動について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）

1. 板垣退助が民撰議院設立建白書を提出し、藩閥政府による専制政治を批判した。
2. 西郷隆盛が尊王攘夷の思想に基づき、欧米諸国を排除する運動を理論的に支えた。
3. 中江兆民が『社会契約論』を翻訳・紹介し、国民の権利や自由の重要性を主張した。
4. 福沢諭吉が『学問のすゝめ』を著し、個人の独立と平等の精神を広く国民に説いた。

問7　1895年に結ばれた下関条約によって、日本が清から一度は譲渡を受けたものの、ロシア・ドイツ・フランスの3か国による強い要求（三国干渉）を受け、清に返還することとなった半島を何といいますか。（2017年 和歌山県公立入試 類似）

1. 山東半島
2. 朝鮮半島
3. 遼東半島
4. 能登半島

問8　1894年の日清戦争終結から、1904年の日露戦争勃発までの約10年間に、日本国内で起きた出来事として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 官営の八幡製鉄所が操業を開始し、鉄鋼の国産化が進んだ
2. 日露戦争の権利を引き継ぎ、満州経営の拠点となる南満州鉄道株式会社が設立された
3. フランスの技術を導入した官営の富岡製糸場が群馬県に設立された
4. 25歳以上のすべての男子に選挙権を与える男子普通選挙法が制定された

問9　歴史の流れにおいて日清戦争後の産業革命の進展を示す象徴的な出来事であり、条約による賠償金を資金源として福岡県に建設され、1901年に操業を開始した官営工場はどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 富岡製糸場
2. 三池炭鉱
3. 長崎造船所
4. 八幡製鉄所

問10　1895年、日清戦争の講和条約である下関条約によって日本が一度は獲得したものの、ロシア・ドイツ・フランスの3国からの要求を受け入れて、清に返還することになった地域はどこですか。（2024年 和歌山県公立入試 類似）

1. 澎湖諸島
2. 台湾
3. 山東半島
4. 遼東半島

問11　明治時代における日本の近代化の過程について、出来事が起きた順序として正しいものはどれですか。1871年の岩倉使節団の出発から1911年の関税自主権の回復に至るまでの主な出来事の前後関係をもとに考えなさい。（2022年 山形県公立入試 類似）

1. 下関条約の締結 →
立憲改進党の結成 →
ポーツマス条約の調印 →
大日本帝国憲法の発布
2. 大日本帝国憲法の発布 →
立憲改進党の結成 →
ポーツマス条約の調印 →
下関条約の締結
3. 立憲改進党の結成 →
下関条約の締結 →
大日本帝国憲法の発布 →
ポーツマス条約の調印
4. 立憲改進党の結成 →
大日本帝国憲法の発布 →
下関条約の締結 →
ポーツマス条約の調印

問12　北海道を中心に独自の言語や文化を築いてきたアイヌの人々に対し、明治政府が行った政策と、その後の法的地位の変化について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）

1. 明治政府は伝統的な狩猟や独自の生活習慣を保護する政策をとり、1997年に制定されたアイヌ文化振興法によって初めて先住民族として認められた。
2. 明治政府は日本語の使用や日本風の姓名への変更を求める同化政策を推し進め、2019年にはアイヌ施策推進法によって法律上初めて先住民族と明記された。
3. 明治政府はアイヌの人々の土地所有権を優先的に認める開拓政策をとり、現在では北海道のみならず全国で独自の自治組織が運営されている。
4. 明治政府は琉球民族と同様に独立した自治権を認める政策をとり、戦後の新憲法公布によって初めて日本国民として平等な権利が与えられた。

問13　19世紀後半から始まった日本の産業革命について、その特徴を説明した文として最も適切なものを選択してください。（2020年 岩手県公立入試 類似）

1. 座と呼ばれる同業者団体を結成した商人が、朝廷や幕府に税を納めることで販売の独占権を得ていた。
2. 寺社の門前などで定期市が開かれ、地方の特産物を交換する商業活動が中心であった。
3. 製糸業や紡績業などの軽工業を中心に発展し、賃金を得て働く労働者の過半数を女性が占めていた。
4. 金座や銀座といった組織が主要都市に置かれ、金貨や銀貨の鋳造と流通を管理することで経済を支えた